


**『センスの哲学』**

- 文化的な学びの重要性
  - センスとは — 物ごとの本質を直感的に捉える力
  - センスある人 — あらゆる場面で適切な判断できる
  - 
    文化的経験の積み重ね
    - センス磨くのに不可欠
    - 多くのジャンルを横断的に体験
    - 不安をいかに楽しさに変換できるか
- センスを磨く努力
  - 先人の模倣だけではダメ — 独自表現の追求が大切
  - 手本になる作品
    - ① そこから本質的な要素を抽出
    - ② 抽象的にとらえること
  - 抽象化とは
    - ☑ 本質を見抜くこと
    - ☑ 独自の解釈を加えること
    - ⇒ オリジナリティのある表現を生み出す
- センスの良さとは何か
  - 
    「ヘタウマ」
    - 「上手」「下手」では測れない
    - 作者独自の感性が前面に出ている
  - （例）印象派の画家 — 
    モネやゴッホの絵
    - 個性的で力強い表現力を持つ